



子どもが輝き、教職員が健康で働きやすい職場を！

学校づくりアンケートに寄せられた声から

尾北教員が行った「子どもが輝く学校づくりアンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果は、現状の課題解決に向け、市町教育委員会への要請や校長会との懇談会に活用させていただきます。アンケートに寄せられた声の一部を紹介します。各課題についてさまざまな角度から考えたいと思います。

特別な教科 道徳

(授業・教科書)

- ◎多様な考えを引き出すと言いつつも、価値の押し付けとなる側面があるのは否めない。
- ◎教科書を見ると、徳目を教えないといけないように感じる。
- ◎その時の子どもの実態と合わない内容をやらなければならぬことがあるので少し困る。
- ◎教科書に読み取り型の内容が多いように感じる。指導書の発問に対して、子どもは、教科書の文章を読み返していることがある。
- ◎子どもが安心して本心を出せる学級でない子どもは絶対に本心は出さない。
- ◎授業参観や研究授業・授業公開などの際、「道徳で」と指定され、やりたい教科の研究ができません。
- (評価)
◎子どもが書いた文章と普段の様子を比

- べると、文章の方はきれいことだと思ふことがあります。道徳は心を育てるものなのに評価するのはおかしいと思う。
- ◎道徳プリントなどで評価すると、文章表現の苦手な児童もいるので、評価をすることに疑問がある。
- ◎評価は必要ない。人の心を評価などできるのか。客観性が担保できない。
- ◎市町によって通知表の評価の仕方が違うのはおかしい。(扶桑町は2期制なのに、前期は道徳所見なし、総合所見も簡素、行動所見も係のみ。江南市は、3学期制なのに、すべて書いています。)
- ◎評価で個人による差をなくすために、コメントがパターン化され、なんのための評価か分からなくなる。
- ◎文章での評価しか仕方がないが、こちらのやることは増える。行動一覧で代替にならないか。
- ◎道徳の所見はいらぬ。評価せず、教科書ではなく、道徳の時間として授業ができればよい。

小学校での英語の教科化

(英語嫌いを生み出す)

- ◎5・6年の外国語の授業を見てみると(本校は先行実施している)とても高度なのでついて行けない子が多く「英語嫌い」を生んでいる。必要ない。
- ◎高学年の後期に、一気に内容が難しくなったと感じています。英語の苦手な私が教えて英語嫌いが増えるのではと心配しています。専科が必要です。
- ◎中学でスムーズに学習に入れるようにつなごうとある内容にするべき。難解な表現、語句が出ないようにしたい。
- ◎移行期間で学年によって英語の学習歴が異なり、中学校以降の英語指導は既習内容を活用した学習が複雑になって大変だと推察します。
- ◎教科書の内容が難しすぎて覚えてほしい単語以外の情報量についていけない子が多い。
- ◎楽しく言語を学ぶ素地を作るという視点が大切かと思えます。
- ◎実施するのであればアルファベットを教えるところから。言語で楽しむのは基礎をおさえてから。小学校でどのレベルまで教えるのか？
- (国語指導が大切)
◎国語力が十分に身につけていない小学校の段階から、英語を行うことに疑問を感じる。外国語の理解には、国語の言語力も必要不可欠である。
- ◎外国語を増やすより母国語(国語)の授業を充実させた方がよいと思う。
- ◎まず様々なところで言われている読解力の定着をはかる方が先決。主言語での思考をトレーニングしてからの副言

語の習得をはかるべき。
(教える不安・専科が必要・その他)
◎子どもに英語力をつけたい意図は分かるが…。現場の教員をますます多忙化させているだけで、結果が伴わないと思う。

◎来年度から、5・6年で700単語覚えさせるのは難しいと思う。やるなら、英語専科の人がいた方がいいと思う。子どものためにも。

◎備品をそろえるお金がない。デジタル教科書が導入されても、それに対応できるスペースを持ったPCや無線などの環境が整っていない。

◎英語教科化は良いと思う。反面、英語教室に通わせないといけないのではないかと感じる父兄さんも増えると思う。

全国学力テスト

(全国学力テストの実施)

- ◎学テで県別に競争させられ、教育がねじまげられる。中止すべき。
- ◎子どもの実態を把握することは大切ですが、今のやり方では本来の目的が果たせていないのでやめてしまえばいいと思います。
- ◎大学入試についても、2本柱(英語民間試験導入・国数での記述式問題導入)がともに保留になったことを考えると、費用と時間のムダである本テストはやめるべき。
- ◎家庭によけいな心配をかけて不安をおるので、必要はない。
- (事前対策)
◎事前対策していたら意味がない。
◎事前対策は本末転倒だが、現場の生徒たちは、あまりにも学テの問題(特に「B」)を知らなすぎる。今、求めら

れている学力はこういうものなんだ、ということくらいは知った方がよい。

多忙化解消

(持ち時間や空き時間)

※尾北教労は、丹葉校長会と市町教委に「小学校週25時間以内」「1日1時間以上の空き時間」、中学校週20時間以内「1日2時間以上の空き時間」を要求しています。

◎すばらしいです。これがあれば定時退校も実現できそうです。

◎ぜひ、実現させてほしい。空き時間は、肉体的にも精神的にも必要。無理な数字ではないと思う。

◎1日1時間の空き時間は絶対必要。

◎空き時間確保をすれば、他教科の教材研究、残業軽減、心のゆとり(先生も指導される子どもも)、トラブルの対応・防止、ヒドゥンカリキュラム(先生の笑顔、雰囲気)、先生になりたい若者が増える。

◎特別支援学級担任は、全く空き時間や休憩なし。

◎理科専科や英語専科がいると、空き時間確保につながると思う。

(今後の多忙化解消)

◎教員の人数を増やし、特に担任の事務がこなせるようにすべき。

◎特別支援学級で1クラスの人数8人定員を減少し、支援の必要な児童にきめ細かく対応できるように、教員の負担も軽減してほしい。

◎在校時間を短くする動きはあるが、業務内容の精選をしていないので、忙しくなった印象をもちます。

◎行事の見直しを、もっと進めるべき。

◎英語、道徳、総合…時間のかかることや、やるべきことが増やされ続けている！

る！

◎思い切ってやってほしい。学芸会(学習発表会)をなくす、通学班は学校はノータッチ、尾教研等の「任意」団体の解体など。これくらいしないと、多忙のまま。

◎学習発表会を授業参観の形式にする。

◎合唱コンクール、〇〇発表会、夏休みのプールなど、いらぬと思う。

◎小学校でも教科担任制を導入する(高学年)など、教材研究の時間を減らしたい。

◎2期制にしてほしい。

◎多忙化解消はいいけれど、制度が大きく変わったわけでも仕事量が変わったわけでもない。結局早く帰れと言われてストレスがたまるだけなので、制度が変わらないなら表向きのをやめてほしい。

◎夕方5時以降は学校を閉め、電話対応をしない。土日の部活も地域へ移行するなどを考えてほしい。

◎現場だけで多忙化解消を目指すのは不可能。

◎教員がやらなくてもいい仕事があると思うので、社会や地域で割り振ってほしい。

時間外勤務の割り振り

◎今年度、日常で使う割振変更簿について、校長先生から、設置したこと、使い方について説明がありました。これから使っていきたいです。

◎管理職がプリント等で明確にして毎年配付すべき。

◎割振変更簿の創設めりがとうございまして。みんなが気持ちよく働ける職場にしたいです。

◎(割り振り)だからといって、言いにくかったり、仕事が多かったりして、早く

帰れないのがつらいです。

◎今日は割り振りで〇時で勤務を解くと突然言われます。言われるタイミングが仕事を切り上げて帰れる時ではないので、結局帰る時間は変わりません。

◎「尾北では多くの学校で日常で使う個人別の割振変更簿が設置されている」という表現は、割り振りが無い学校の職員は心を痛めています。早くどの学校にも設置してほしい。

◎割り振りは自分のタイミングでとれるようにしてほしいです。

◎割り振りに該当する時間を、管理職がしっかりと明示してほしい。

◎年度初めにきちんと説明していただきたい。

◎割り振りについてよく分からない。

◎やはり長期休業中以外は割り振りがない。

勤務時間・休憩時間

年休・療養休暇など

◎休日に、何時間か仕事をしに学校に来たとき、タイムカードを押しにくい雰囲気がある気がします。

◎30年以上教員をしてきて、休憩をとったことは1度もありません。周囲の同僚も同じだと思います。まず、システムの整備をしていただきたいです。

◎1日の勤務の中で休憩時間を確保しやすいようにしてほしい！

◎休憩時間は全くとれていないし、療養休暇もよく分からずにとれていない。

◎勤務時間の7時間45分と休憩時間がつなぐのかということ等、よくわからないので教えてほしい。

◎風邪・インフルエンザのシーズン前に、

校長先生から全職員に対して、療養休暇についてくわしく説明がありました。療養をとる権利をもっと周知させねばならない。

その他

(変形労働時間制・免許更新制・駐車料金問題・学校訪問など)

◎変形労働時間制だと今より拘束時間が長くなるのでやめてほしい。

◎変形労働時間制、断固反対！

◎免許更新は、一周したから、もうよいのでは。

◎教員免許更新制も学校訪問も廃止すればいいと思います。それより時間をかけるべきことは他にあると思います。

◎駐車料金は、なし！お金ないです…。

◎駐車料金の撤廃を強く求めます。

◎学校訪問は1ヶ月も前から時間を設定するなど実態に合わない。その手間と時間をとられている。

◎学校訪問は2年に1回でよい。他の教育事務所の状況も見てほしい。

◎「コミュニケーション・スクールは外部の方へのおもてなし」に気をつかう。

(働きやすい職場づくり)

◎職員室の雰囲気、ストレスに繋がったり、子どもに伝わったりすると思う。職場のパワハラに困っている。パワハラはどこに訴えればよいかよくわからず困った。県の公平委員会はどうか調べてほしい。

◎働きやすい環境をお願いします。

◎先生の仕事は楽しく、価値あるものだと世の中に広めたい。そのために、職場環境を良くすべき。

★アンケートに寄せられた主な声は、尾北教労のホームページからご覧になれます。(尾北教労にて検索)